

新明和、売上高3200億円

26年度 特装車・航空機を拡大

新明和工業は7日、2027年3月期に売上高3200億円（240億円（同53・8%

増）を旨とする中期経営計画を発表した。主力の特装車や航空機の事業を拡大するほか、新事業の展開や生産性向上で利益改善を図る。五十川龍之社長は「前中計で目標に達しなかった営業利益を特装車や航空機でもっと上げていく」と方針を語っ

た。

新中計では特装車で東南アジアなど新興国需要を開拓し、航空機で整備事業などを創出する。3力年の設備投資は全社で200億円を計画する。前中計は約170億円にとどまった。

特装車では3工場で生産性改善の塗装設備を設ける。特装車の値上げによる利益改善は約1年かかる見通し。航空機では4月に中

部国際空港で丸紅の子会社と小型ジェット機の整備を始めた。防衛省向けの飛行艇事業は「受注間隔が長期化し部品や設備の確保が難しく、防衛省に協力を求めている」（五十川社長）。